

2024年12月19日

横浜ゴム、中国杭州の乗用車用タイヤ新工場の起工式を開催

横浜ゴム（株）は12月16日（月）、中国杭州市の乗用車用タイヤ新工場の起工式を開催しました。式には杭州市の姚高員市長をはじめ、多くの政府関係者や地元関係者が出席しました。また、横浜ゴムからは山石昌孝代表取締役会長兼 CEO、清宮眞二代表取締役社長兼 COO などが出席しました。

新工場は2024年度から2026年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2026（YX2026）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーロク）のタイヤ消費財の成長戦略に掲げた「1年工場」の第一弾であり、今回の起工式を機に「1年工場」の建設がスタートします。「1年工場」は横浜ゴムが今まで培ってきたノウハウだけでなく、現地で実績のある協力企業のノウハウも取り入れることで、低コスト・高効率生産を実現し、市場競争力の高い工場を着工から1年で立ち上げることを目指します。

起工式で挨拶に立った山石代表取締役会長兼 CEO は、工場建設に関わる多くの尽力に謝意を表すとともに「中国の自動車産業が目覚ましく成長する中、新工場建設は大きな成長の機会と考えています。最新設備に高度な自動化・デジタル化を取り入れた最先端工場を1年で立ち上げ、高品質なタイヤの提供と地域発展への貢献を早急に進めてまいります」と述べました。

新工場は今回の移転を機に、中国市場における今後のさらなる需要増を確実に取り込むため、同じ杭州市内で稼働中の既存工場に比べ生産能力を約300万本増強します。生産能力は年産900万本で、2024年第4四半期に着工し、2026年第2四半期からの本格生産開始を計画。急拡大している新エネルギー車向けタイヤを中心に、グローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN（アドバン）」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」などのハイインチタイヤの生産を強化します。

横浜ゴムは「YX2026」のタイヤ消費財の成長戦略において「1年工場」への挑戦のほか、高付加価値品比率の最大化を掲げ、その主力である「ADVAN」「GEOLANDAR」「ウィンタータイヤ」、そして18インチ以上のタイヤの拡販に取り組んでいます。また、各地域の市場動向に沿った開発・供給・販売体制などを強化する「商品・地域事業戦略」を推進しています。



起工式に参加した杭州市政府高官と横浜ゴム関係者。写真中央が杭州市の姚高員市長。右隣が横浜ゴムの山石昌孝代表取締役会長兼 CEO と清宮眞二代表取締役社長兼 COO

<新工場の概要>

会社名：杭州錢塘優科豪馬輪胎有限公司

所在地：中国浙江省杭州市錢塘新区

事業内容：乗用車用タイヤの生産

敷地面積：約 30 万平方メートル

生産能力：900 万本／年

生産開始（予定）：2026 年第 2 四半期

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：背戸柳
TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552